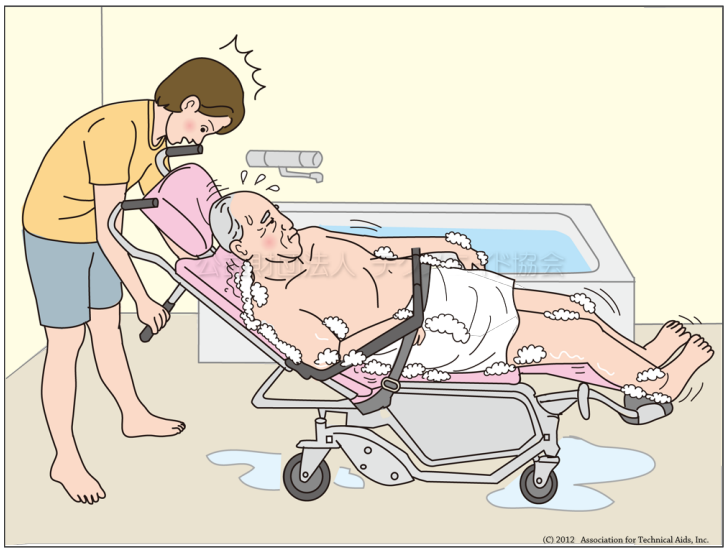
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：99

リクライニングさせたとき、利用者の身体が前方へすべり落ちそうになる

場面の説明

洗体中、泡のついたすべりやすい状態でリクライニングをしたところ、利用者が前方にすべり出した



利用シーン	入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

入浴などすべりやすい環境の下では、リクライニングで寝かせるときだけではなく、起こしていくときにも体が前方にすべりやすくなります。それを防止するためには、座面のティルト機能を有効に使うと効果的ですが、股関節の曲がりにくい利用者ではうまく機能しないケースもあり、ベルトなどを併用することもあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：洗体中にリクライニングさせた
モノ：ティルト機能のないシャワーキャリーだった
環境：全身に石けんがついてすべりやすかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：99

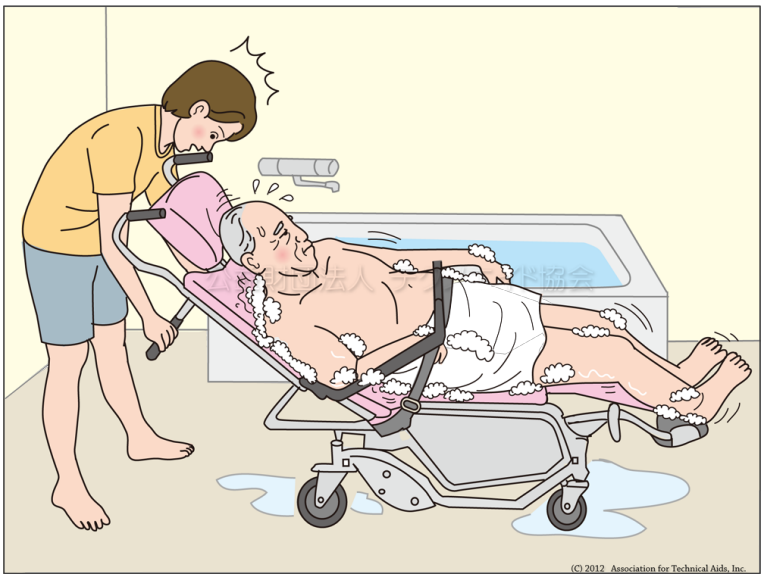
リクライニングさせたとき、利用者の身体が前方へすべり落ちそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

洗体中、泡のついたすべりやすい状態でリクライニングをしたところ、利用者が前方にすべり出した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.